

平成26年病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ナシ黒星病

平成26年6月30日

鳥取県病害虫防除所

表1 ナシ黒星病巡回調査結果

地区名		発病葉率 (%)		発病果率 (%)	
		本年	平年 ¹⁾	本年	平年 ¹⁾
東部	鳥取市①	0	2.9	0.3	0
	鳥取市②	0	0.5	0	0.1
	鳥取市③ ³⁾	91.5	7.8	— ²⁾	— ²⁾
	鳥取市④	0	0.1	0	0.2
	八頭町	0	0.3	— ²⁾	0.2
中部	倉吉市①	0	0.1	0	0
	倉吉市②	0	0.9	0	0.3
	北栄町	0.6	0.4	0	0.1
	琴浦町	0	0	0	0
西部	大山町	0.7	4.4	0.3	0.2
	米子市	0	1.5	— ²⁾	— ²⁾
	南部町	0	0	0	0
平均		0.1	1.0	0.1	0.1

注) 1) 調査地点により調査年数が異なるため、H15～24年の期間のうち2年以上（最大10年）の調査結果をもとに平年値を算出した。

2) 有袋栽培ほ場では調査は未実施であり、発病果率は「—」とした。

3) 鳥取市③は農薬散布回数を削減した栽培のため参考とし、全体の平均には算入していない。

・ 1圃場当たり300果、30果その全葉を調査

・ 調査対象はすべて赤ナシである

【概要】・果そう葉における発病は平年と比べてやや少なかった。

・果実における発病はほぼ平年並であった。

【対策】・発病した葉及び果実は取り除き、園外で処分する。

・多発園では、EBI剤（アンビルフロアブル、スコア顆粒水和剤、オンリーワンフロアブルなど）の追加防除を行う。EBI剤の散布時には、耐性菌の発達を避けるためチウラム水和剤、ベルコートフロアブルなどの殺菌剤を混用することが望ましい。